

消費生活相談 TEL : 0587 - 53 - 0505

月曜日～金曜日（土日祝日除く） 9～12時、13時～16時30分

国民生活センターでは「柔軟仕上げ剤のにおい」に関する相談情報が毎年一定程度寄せられています。
（年間130～250件程度）



洗濯物の柔軟仕上げ剤の においで体調不良に

いつもとは違う柔軟仕上げ剤を使用したところ、頭痛、吐き気、涙目になり、気分が悪くなった。今までこのようなことはなかったが、柔軟仕上げ剤の香りのせいで気分が悪くなることはあるか。（女性・30歳代）

戸建住宅に住んでいる。隣家の洗濯物の柔軟仕上げ剤の香料で頭痛がしたり、食べ物の味がわからなくなっている。窓を閉めても、換気扇等からにおいが入ってくる。自分も子供もアレルギーがあるので不安だ。柔軟仕上げ剤の香料成分を開示してほしい。（女性・40歳代）



～消費者へのアドバイス～

香りの感じ方には個人差があります。自分にとっては快適なにおいでも他者は不快に感じ、**体調を崩すこともある**ということを知り、認識しておきましょう。

自分が慣れたにおいには感じにくくなり、**使用量が徐々に増える**こともあります。他者への配慮を忘れずに、使用量の目安を参考に、**過度な使用は避けましょう。**

商品を選択する際は、商品パッケージ等に記載されている香りの強さの『目安』を参考にしましょう。

においと臭気対策に関する

専門家からのコメント

「におい」について

「においがする」ということは、呼吸時の空気中に存在する化学物質（分子）が、鼻の奥にあるセンサー部に捕捉され、その情報が電気信号に変換されて脳に伝わり、捕捉した分子情報を元に、最終的に脳が「におい」を識別することです。人は、空気中に漂う「におい分子」の種類及び数によって「におう、におわない」、「においの強弱」、「好き、嫌い」、「快適、不快」などを判断しています。この判断は、人それぞれが生活の中で培ってきた「におい」に関わる経験によって成されるものです。従って、においの感じ方は千差万別であり、特に好き嫌い、快不快性等については嗜好性が強く反映される傾向になります。

柔軟仕上げ剤のにおいについて

現在販売されている柔軟仕上げ剤は、各メーカーが製品の特徴として芳香性を工夫し、他社製品との差別化を図っています。それにともない、消費者は柔軟仕上げ剤の本来の効果である柔軟効果や静電気防止効果よりも香りに着目して商品を選択していることが多いのが現状です。香りの選択は嗜好性によるものであるもので、法律による規制は容易ではないと思われまます。柔軟仕上げ剤のにおいについて、業界団体等で「香りの強さの目安」に関する表示の在り方を検討されることが期待されます。香りの害に苦しむ人がいる中で、本人だけでは解決できないところもあり、非常に難しい問題となっています。しかも、最近では柔軟仕上げ剤の香りを長持ちさせる工夫として、香りをマイクロカプセル化したものをメーカーが採用し始めています。この方式ですと、一定レベルの香りが長い時間、環境中に存在し続けることとなります。

柔軟仕上げ剤のにおいと揮発性有機化合物の関係について

柔軟仕上げ剤を使用した洗濯物を干した際に揮発性有機化合物が放散されると考えられますが、放散される揮発性有機化合物の中にはにおいのある成分のほか、においのない成分（もしくは極めて弱い成分）も含まれます。従って、においを強く感じるからと言って揮発性有機化合物が多く発生しているとも限りません。

柔軟仕上げ剤を使用する際に気を付けるべきことについて

私たちは、自分が慣れたにおいは感じにくくなる傾向にあるため、においを強くしようと使用量が徐々に増えてしまうことがあります。また、自分にとっては快適なにおいでも、他人は不快に感じていることもあることを認識して、使用にあたっては、使用量が過度にならないようにするなどの配慮が必要だと考えられます。